

なかどまり

第16号

平成21年5月発行

議会ガイド



下前「徐福の里」 物産品直売所がオープン

〔平成21年4月12日(日)〕



〈主な内容〉

●第1回定例会	2
●一般質問	4
塚本 悦子議員	6
奈良 清治議員	7
古川 登議員	9
川山 光則議員	10
荒関 富雄議員	11
青山 雅晴議員	12
●委員会だより	14
●議会の動き	14

平成二十一年

第一回定例会

平成二十一年第一回中泊町議会定例会が三月四日招集される。



野上議長

第一日目(三月四日)

本会議

議員二十名出席のもとに開会。会議録署名議員に荒関富雄議員、塚本悦子議員を指名、会期を九日間と決め、四十三議案、報告三件を一括上程し、町長から提案理由の説明後、予算特別委員会の設置を議決し、発議一件、陳情一件を可決、採決して散会。

第二日目(三月五日)

一般質問通告締切
議案熟考のため休会

第三日目(三月六日)
議案熟考のため休会

第四日目(三月七日)
議案熟考のため休会

第五日目(三月八日)
議案熟考のため休会

第六日目(三月九日)
本会議

一般質問に、塚本悦子議員、奈良清治議員、古川登議員、川山光則議員、荒関富雄議員、青山雅晴議員が登壇。

第七日目(三月十日)

予算特別委員会

平成二十一年度各特別会計予算審査

第八日目(三月十一日)

予算特別委員会

平成二十一年度一般会計予算審査

第九日目(三月十二日)

本会議

上程してある四十三議案と報告三件、議員発議三件について審議した結果、原案どおり可決承認し閉会。



審議された議案

条例

○中泊町子育て医療費無料条例の制定

子育てをしている保護者の子どもに係る医療費の負担をさらに軽減するため提案するもの。

○中泊町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定

国より介護従事者処遇改善臨時特例交付金が交付されるのに伴い、基金を設置するため提案するもの。

○中泊町学校給食センター条例の制定

新たな学校給食センターを設置するため提案するもの。

設置するため提案するもの。

○中泊町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

○中泊町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

○中泊町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正

○中泊町職員の給与に関する条例の一部改正

○中泊町職員、特別職、教育長、職員の人件費削減を引き続き実施するためそれぞれ条例の一部を改正するもの。

○中泊町職員等の旅費に関する条例の一部改正

職員等の旅費の減額を引き続き実施するため条例の一部を改正するもの。

○中泊町報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

小泊幼稚園の廃止に伴い、条文を整備するため条例の一部を改正するもの。

○中泊町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正

児童福祉法の改正に伴い、

設置するため提案するもの。

○中泊町国民健康保険条例の一部改正

第四期中泊町介護保険事業計画策定に伴い、介護保険料を改定するため条例の一部を改正するもの。

条文を整備するため条例の一部を改正するもの。

○中泊町道路占用料等徴収条例の一部改正

道路法施行令の改正に伴い、

国民健康保険税の納期を変更するため条例の一部を改正するもの。

○中泊町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団の待遇改善を行うため条例の一部を改正するもの。

○平成二十年度中泊町一般会計補正予算第九号

補正額は、歳入歳出とも三億九千八百五十四万五千元

補正額は、歳入歳出とも三億九千八百五十四万五千元

補正額は、歳入歳出とも三億九千八百五十四万五千元

補正額は、歳入歳出とも三億九千八百五十四万五千元

補正額は、歳入歳出とも三億九千八百五十四万五千元

補正額は、歳入歳出とも三億九千八百五十四万五千元

補正額は、歳入歳出とも三億九千八百五十四万五千元

補正額は、歳入歳出とも三億九千八百五十四万五千元

補正額は、歳入歳出とも三億九千八百五十四万五千元

を追加するもの。

補正する歳出の主なものは、国の第二次補正予算に係る定額給付金給付事業費、地域活性化・生活対策事業費及び子育て応援特別手当支給事業費、国民健康保険特別会計(事業勘定)繰出金、県営高根地区湛水防除事業負担金の追加、並びに既定予算額の精査等による重度心身障害者医療費、障害者福祉費及び学校給食センター建設事業費の減額など、それぞれ計上。

○平成二十年度中泊町国民健康保険特別会計補正予算第五号 事業勘定の補正額は、歳入歳出とも一億七千四百七十八万五千円を減額するもの。 補正する歳出の主なものは、諸支出金の追加、並びに保険給付費、共同事業拠出金及び保険事業費の減額などそれぞれ計上。

診療施設勘定の補正額は、歳入歳出とも二百七十四万二千円を減額するもの。 補正する歳出の主なものは、既定予算額の精査等により施設管理費及び医薬費の減額などを計上。

○平成二十年度中泊町老人保健事業特別会計補正予算第三号 補正額は歳入歳出とも九千五百五十万円を減額するもの。 補正する歳出の主なものは、医療給付費の減額などを計上。

○平成二十年度中泊町介護保険事業特別会計補正予算第四号 補正額は歳入歳出とも一千四百二十九万円を追加するもの。 補正する歳出の主なものは、居宅介護サービス給付費、地域密着型介護サービス給付費及び介護従事者処遇改善臨時特例基金積立金の追加、並びに地域密着型介護予防サービス給付費及び特定入所者介護サービス費の減額などを計上。

○平成二十年度中泊町特別養護老人ホーム静和園事業特別会計補正予算第四号 補正額は、歳入歳出とも五十六万四千円を追加するもの。 補正する歳出の主なものは、賄材料費及び介護保険システム改修業務委託料等を計上。

○平成二十年度中泊町後期高齢者医療特別会計補正予算第三号

号

補正額は、歳入歳出とも八百三十一万一千円を減額するもの。 補正する歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金の減額を計上。

○平成二十年度中泊町水道事業特別会計補正予算第二号 収益的支出予定額から七万円を減額するもの。

その他

○字の区域の変更について

東郡外ヶ浜町において、国有林野を道路用地の目的に供するため買収したことに伴い、当該土地に中泊町に位置する土地が存在し、中泊町の字に編入する必要が生じたことから、議会の議決を求めるもの。

○辺地総合整備計画の策定について

若宮辺地における公共施設の計画的な整備を推進するため、辺地総合整備計画を策定したうえで、議会の議決を求めるもの。

○つがる西北五広域連合規約の変更について つがる西北五広域連合規約を変更するため、議会の議決を求めるもの。

○中泊町老人福祉センターに係る指定管理者の指定について 中泊町折腰内オートキャンプ場に係る指定管理者の指定について

○中泊町折腰内交流施設に係る指定管理者の指定について

○中泊町すくすくこども館に係る指定管理者の指定について

○中泊町基幹集落センターに係る指定管理者の指定について

○中泊町徐福の里物産直売所に係る指定管理者の指定について

○中泊町の農業施設等に係る指定管理者の指定について

○中泊町小説「津軽」の像記念館に係る指定管理者の指定について

公の施設についてそれぞれ指定管理者を指定するため提案するもの。

人事

○人権擁護委員候補者の推薦について

現委員二名の任期が、平成二十一年六月三十日をもって満了することに伴い、後任の委員を任命するにあたり、議会の意見を求めるもの。

報告(専決処分)

○平成二十年度中泊町一般会計補正予算第六号について 補正額は、歳入歳出とも四百三十二万三千円を追加するもの。

補正する歳出の主なものは、老人福祉センター温泉の急激な湯量の低下に対処して、早急に水中ポンプの取替が必要となり、所要の予算補正を要するため。

○平成二十年度中泊町一般会計補正予算第七号について 補正額は、歳入歳出とも一千五十万円を追加するもの。

補正する歳出の主なものは、老人福祉センター温泉の急激な湯量の低下に対処して、水中ポンプの取替を行ったものの、湯量等が回復しなかったため、更にケーシング内の洗浄及び井底の浚渫が必要となり、所要の予算補正を要するため。

○平成二十一年度中泊町一般会計
補正予算第八号について

補正額は、歳入歳出とも五百四十一万七千円を追加するもの。

補正する歳出の主なものは、定額給付金の給付事務を進めるにあたり、所要の予算補正を要するため。

発議（議員提案）

○中泊町農業委員会委員の推薦
について

中泊町農業委員会委員の任期が平成二十一年三月二十七日をもって満了するため、農業委員会等に関する法律第十二条第二号の規定に基づき推薦するもの。

○中泊町議会会議規則の一部改
正について

議案の審議又は議会の運営に
関し協議又は調整を行う場
として全員協議会を設けるた
め、規則を改正するもの。

○議員派遣について

中泊町議会会議規則第百二
十二条の規定により、議会在

必要あると認めるときは、議
員派遣できるよう提案するも
の。

○教育予算の拡充を求める意見
書について

教育の機会均等の保障や教
育条件改善のために関係予算
の確保、充実が必要であるこ
とから、国関係省庁に予算拡
充を求める意見書を提出する
もの。

町長提案理由説明



本日ここに、平成二十一年第
一回中泊町議会定例会が開会さ

れ、平成二十一年度当初予算案
をはじめ、各般にわたる議案に
ついてご審議を願うにあたり、

町政の運営に関する所信の一端
を明らかにし、提出議案の概要
についてご説明申し上げ、議員

各位並びに町民の皆様のご
理解とご協力を賜りますようお
願い申し上げます。

私は、本職に就任して以来、
常に町民の目線で公平・公正な
町政の運営を基本に、住民福祉
の向上と町勢発展に意を傾注し
ながら、「大地の恵と海の幸
心ひとつに希望のまち」を実現
すべく目標を定め、現実の課題
への対応と将来展望に立って、
一意専心歩んでまいりました。

この間、国と地方に関する財
政構造改革の進展、地方公共団
体の財政の健全化に関する法律
の制定・施行、そして金融危機
に端を発した経済不況等により、
町政が抱える課題が山積してき
ておりますが、合併に係る財政
面の特例措置を最大限に活用し
ながら、諸行政課題に対処して
まいったところであります。中
里・小泊両地域の一体感の醸成
が進み、まちづくりが進展しつ
つありますことは、ひとえに議
員各位はもとより、町民の皆様
の温かいご支援とご協力の賜と
深く感謝申し上げます。

さて、時代は今、世界的な経
済不況下にあり、わが国におい
ても景気が急速に後退し消費の
低迷や雇用問題が浮上し、生活

不安が顕著となつてきており、
今後の地域振興を図るうえで、
現下の諸課題への適切な対応は
もとより、これまで培ってきた
歴史や伝統を重んじながら、地
域資源や地域性等に視点を置い
た諸施策の推進がますます肝要
とされております。

このような折、私の町長とし
ての任期は、本年四月二十三日
をもって満了となりますが、地
方分権の推進、財政構造改革、
少子高齢化、義務教育施設の耐
震化及び雇用問題等への対応が
現実の大きな課題となつているこ
の時期、私はこれまでの経験を
糧として引き続き町勢発展に不
断の努力を重ねながらまい進し
てまいる所存であります。このた
め、中泊町長期総合計画に掲げ
る「活力あふれる産業のまちづく
り」をはじめ八つの基本的な施
策を町政運営の指針とすること
はもとより、もつたいない町民運
動による循環型まちづくり条例
の制定趣旨に沿って、そのための
個別具体的な施策を講ずること
によつて住民福祉の向上を図る
ことを第一義として町政を担うべ
く、町民の審判を仰ぐ決意であ
りますので、議員各位並びに町
民の皆様のご支援を賜りますよ

うお願い申し上げます。
なお、このような実情にあり
ますが、平成二十一年度の当初
予算については、国・県におけ
る制度改正や補助・負担事業に
対する速やかな対応が必要であ
ること、継続的な事務事業が多
いことなどを考慮し、円滑な行
財政運営を図るため、通常予算
の考えで編成することとしたし
たところでありますので、なに
とぞ、ご理解を賜りますようお
願い申し上げます。

予算特別委員会



沖崎 勲 委員長



大場 栄 副委員長

三月定例会に提案された平成
二十一年度一般会計予算及び特

別会計の予算について、全員で構成する予算特別委員会(沖崎勲委員長、大場栄副委員長)を開会。会期を三月十日、十一日の二日間と決めた後、付託された九件に対する審議が行われ、三月十二日の本会議において原案どおり可決された。

平成二十一年度予算の概要

○一般会計予算

平成二十一年度中泊町一般会計予算案については、歳入歳出予算総額は歳入歳出とも六十二億三千八百万円。前年度当初予算に対して、七億三千万円、一〇・五パーセントの減。

歳出の主なものは、総務費として緊急雇用創出事業費、ふるさと雇用再生特別基金事業費、武田・中里高校線バス運行事業費及び地域連絡バス運行事業費、衛生費として公費負担拡充による妊婦健康診査事業費、一般廃棄物最終処分場延命整備事業費及び循環型社会形成推進地域計画事業費、農林水産費として県営高根地区湛水防除事業費及び農地・水循環保全向上対策事業

費、土木費として辺地総合整備計画に基づく若宮地区町道十四号線改良事業費及び尾別地区町道百九十二号線改良事業費を計上。

歳入については、その大宗を占める町税及び地方交付税のほか、国庫支出金、県支出金及び町債など見込み額を精査したうえで計上。

○国民健康保険特別会計予算

予算総額は、歳入歳出予算の総額は事業勘定で歳入歳出とも二十三億六千七百四十五万二千円、診療施設勘定で歳入歳出とも七億三千九百八十六万円。

○老人保健事業特別会計予算

予算総額は、歳入歳出予算の総額は歳入歳出とも一千二百二十六万六千円。

○介護保険事業特別会計予算

予算総額は、歳入歳出予算の総額は歳入歳出とも十二億八千三百八十五万円。

○農業集落排水事業特別会計予算

予算総額は、歳入歳出予算の総額は歳入歳出とも三千七百

十三万三千元。

○漁業集落排水事業特別会計予算

予算総額は、歳入歳出予算の総額は歳入歳出とも二千八百二十五万円。

○特別養護老人ホーム静和園事業特別会計予算

予算総額は、歳入歳出予算の総額は歳入歳出とも二億九千六百九十七万二千元。

○後期高齢者医療特別会計予算

予算総額は、歳入歳出予算の総額は歳入歳出とも二億二千六百六十一万五千元。

○水道事業特別会計予算

予算総額は、収益的収入及び支出予定額として収入に三億五千九百三十五万六千円を、支出に三億二千六百五十八万五千円を計上し、資本的収入及び支出予定額として収入に九千八百二十万円を、支出に二億五千七百七十八万八千円を計上。

平成二十一年

第一回臨時会

一月十五日開会。上程された議案二件を原案可決。報告一件を承認し、閉会。

審議された議案

○中泊町立小泊幼稚園条例の廃止について

平成二十一年三月三十一日をもって小泊幼稚園を廃止するため提案するもの。

○平成二十年度中泊町一般会計補正予算第五号について

補正額は、歳入歳出とも二千二十五万二千円を追加。

歳出は、国の地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金の交付決定に伴う緊急雇用対策施設改修工事費及び菜の花バイオ利用促進助成事業補助金、並びに消火栓取替工事を計上。

報告(専決処分)

○中泊町国民健康保険条例の一部改正について

出産育児金一時金の引き上げをするための改正。

傍聴席は、あなたの席です!!

中泊町議会 平成21年第2回定例会は、6月初旬です。会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。平成21年第1回定例会の傍聴者は、15名でした。皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

一般質問

※質問議員の発言は、議員間の取り決めにより、800字程度に要約して掲載しています。また、答弁についても要約しています。

塚本悦子議員



質問 第1 少子高齢化の歯止め対策について

2年前私は、少子化問題で他市町村の対比を挙げ、問題を提起しました。結果、昨年の妊婦無料検診をこれまで2回から5回となり、出産育児一時金が35万円から38万円。また来年度は必要な無料検診を14回、乳幼児から未就学児(6歳)まで医療費全額無料。保育料第二子から無料となりました。しかし少子高齢化は全国的に急速に進んでいます。

この度、県では雇用の創出や子育て支援、妊婦検診、障害者支援などの対策を実施するため、基金設置や積立を行うとしました。

そこで中泊町の財源を見ますと、歳入の半分以上は地方交付税であります。その一部を特定目的基金を設置し、積み立てして、少子化対策に充ててほしいので

す。早く対策を立てないと町はなくなってしまうという深刻な事態に陥っています。このような事態の歯止め対策はいかがお考えでしょうかお聞かせ願います。

●小野町長答弁

当町では、妊娠期、乳幼児期から学齢期、そして思春期までの取り組みをしております。今議会に提案しております、乳幼児の医療費の無料条例並びに保育所入所児童の第二子以降保育料無料化に係る規則の改正、それに伴う予算案をご審議いただくこととなっております。このことは、子育て家庭の産み、育てることへの医療費の負担軽減と保育に係る支援施策で、これのみをもって少子化対策とは申しませんが、他町村に先駆けてのことと理解しております。

我が町の少子化の歯止め対策ではありますが、少子化対策という大きな問題に対処するには、子育ての家庭の医療費の軽減のこと、学校教育費の負担軽減のこと、働く場の確保に関すること、温かな家庭を生み出す住宅のことなどに加えて、町としては、それに要する財源のことが挙げられます。財源があれば、解決できる課題がある反面、財源があっても解決できない課題もあります。しかし、避けて通れない課題であり、財源のないときは、職員はもとより皆様方にも知恵をお借りすることがあるかと思えます。また、せっかくの知恵を出しても、すぐに解決にはならないのが少子化問題の難しさであり、ご質問のとおり10年、20年以上のスパンをもって取り組まなければならないと思っております。

そこで、ご質問の少子化対策の一環として特定目的基金の設置の件であります。町としては、議員の申すように少子化対策の財源を基金に積み立てし、その

特定財源で進めるということは特色ある方法であると思います。基金を積み立てる財源の、規模等や財政運営計画及び長期総合計画等のことを念頭に、財政当局と協議をしながら今の問題を考えてまいりたいと思えます。

塚本悦子議員再質問

少子化対策といっても大変幅は広いものでございます。子育てから学校教育、雇用、住居等、環境づくりが非常に大事です。産業を展開し、知恵を出し、いかに市町村の人をこの町に引き込むかだと思います。

この町に眠っているもの、農林水産業を活かした町づくりのためのプロジェクトを組み、また学校教育の一環として小学生、中学生のプロジェクトをつくり、この町づくりに参画させ、この町の現状を感じさせ、児童生徒達の斬新なアイデアを引き出し、住んで楽しい町であれば転出は防げるはずで。

●藤田教育長答弁

お話のまちづくりの中に、小、中の子供たちを入れていろいろなことを考えさせたほうが良いのではないかといいことですが、議員お話のように、小、中の子供たちを社会に目を向けさせると、町に目を向けさせるといふことを、非常にいいことだと思います。私も社会教育関係では種々関係するようなことはしてはおりますが、今お話のことも含めまして、前向きに検討していきたいと思えます。また、教科のほうでは総合的な学習の中に町のことについて勉強することになっていきますので、そういったような教科のほうも含めまして、趣旨を生かしていきたいと思えます。

塚本悦子議員

平均的な政策だと、20数年でこの町の人口が半分にならなければならないのです。

合併して4年、近隣の自治体にならないような、これが中泊町だという目玉的な政策であれば、この町に転入して子育てをしたいと思う人も出てくる可能性も大であります。

ホップ、ステップまで来ました。次は大きくジャンプして頂きたいのであります。どうか、アメリカの大統領オバマ流のスピードある変革を、町長に期待して質問を終わります。

奈良清治議員



質問 第1 4月の中泊町長選出馬表明の一部公約について

公約で中里高校存続の町長の基本的対応策は。私は中里高校存続で再三質問し中里地区の進学校にすべき、又武田地区の通学用の交通の確保と今後の公的採用は中里高校卒業を優先にすべきと提言しておりますが、町長の対応策は。

質問 第2 妙法寺周辺農道を併用町道とする考へはないか

妙法寺周辺の農道を併用町道とし、今後建設される住宅のためバイパス寄りの進入道路を将来町道とするため、認定規則を今から所有者に行政指導し、支障ないようすべきと思う。

質問 第3 中里団地は、近年テレビの映りが悪いのと、室内の湿気の激しさを解消すべきでないか

中里団地内の連棟住宅用合同アンテナが低いので、映りが悪いとの苦情があるすぎる。一度調査すべきである。又各棟も築約30年となり、外壁の防水力がなく室内の湿気もひどいため湿気の解消に取り組むべきと思う。

質問 第4 新幹線開通による観光客誘致とPRを考えているのか

この件も何度か質問しましたが、来年は新幹線開通、我が町もPRと来客の対応を考えるとときであり、一つは津鉄列車内に中泊町観光ポスター宣伝又は中里駅内の旧コープ店の開き部屋を使用し何かやるべきであり、特に冬期間は観光バス用の駐車場の除雪を考え、フリー観光客の外国人の対応窓口を考えるべき。

質問 第5 尾別地区に計画の最終処分場について

約1億円ほどの調査費でのアセスメント環境影響評

価ですが、自然保全大気汚染水環境土壌、特に尾別川水質の調査進行はどうなっているのか。又処分場地搬入道路買収と単価の合意はどうなっているのか。当町には単価や要望合意ができず、現在も未完成道路が数カ所あります。又そのようなことがないか確認するものです。

質問 第6 薄市火災について

前回もしたものです。この火災は類焼された方々、目の前で財産が火で崩れるのを見て身の切り裂かれる思いであったことでしょう。町長の答弁に疑問を感じ再度確認します。消火栓の不備がないか、延焼するほどの強風であったか、用水路にヘドロだけだったのはなぜか、又類焼者へ会ったのか、消防長消防会議に報告云々は私は行政、特に町長は町民に不利益をさせないのが首長の原点だと思っています。町民の生命財産を守るため監査委員に申し上げますが、一例ですが町より高額医療未払い申請は2年以内で時効です。もっと町民のため監査指導すべきでないか

●小野町長答弁

このたびの町長選挙にあたり、再び出馬することを1月27日に発表したわけですが、その理由は、合併後4年を経過いたしました。新町建設の道のはまだ半ばであり、今後4年間で総仕上げをしたいとの強い思いからであります。その公約の一つとして、将来を担う子供たちのためのまちづくりを掲げたものであります。この中で中里高校の存続及び支援を訴えました。中里高校は、当町はもちろん津軽半島西北部住民の長年の悲願が実り、昭和51年4月に開校され

た高校であります。この高校の開校により、内潟中学校の進学率は飛躍的に伸びたのであり、画期的な出来事であったのであります。しかし、少子化に対する生徒数の減少が著しく、青森県においては、県立高等学校の統廃合を積極的に進めております。この地域から中里高校がなくなることは、当町ばかりではなく地域全体の大きな損失となります。そこで、高校の統廃合の課題にのぼらないような体制を整えておくことが必要であるとの思いから、私の公約に掲げたものであります。

次に、町では中里高校の卒業生の採用を考えているのかというご質問でございますが、今年の4月からの採用は4名ございます。採用につきましては、中里高校を終わつたので、すぐ採用とは難しく、専門学校、専門職等の関係や地域全体を見ながら採用していきたいと思っております。

そして薄市地区における火災についてですが、昨年の12月議会の奈良議員の質問に対し、私の答弁に真実性がないということですが、再質問に対する答弁も含め、12月議会でお答えしたとおりです。また、議会終了後には、被災された方と町長室でお会いし、奈良議員に答弁したとおりの内容をご説明申し上げております。

● 横山建設課長答弁

妙法寺周辺農道を町道とする考えはないかとのご質問でございますが、まず道路の整備計画については、地域の状況、交通の現況、それから将来にわたる交通需要などを考慮しなければなりません。また、町道認定をするには、中泊町道認定基準要綱に照らして判断することになります。今後地区住民や土地改良区ある

いは隣接する土地所有者と相談しながら整備に向け取り組む必要がある路線だと思っております。

次に、中里団地のテレビ映りが悪いとのご指摘の件ですが、団地の周辺が山で盆地状になっている地形が原因と思われます。電波障害等について問い合わせをしたところ、今のところ現在NHKでは、その種の調査はやっていないとのことであり、町の対応としては、2011年の地上デジタル放送に合わせ、業者に電波状況等の調査を依頼しなければならぬと思っております。できれば平成21年度でその調査をして、その結果を見て対策を考えたいと思っております。

また、中里団地の室内の湿気対策についてですが、冬期間はどうしても部屋を締め切った状態で暖房器具を使用するため、結露などが生じ、壁や天井が濡れたりしますので、そういう状況になった場合、連絡をいただければ、確認の上、すぐ必要な措置を講じたいと思っております。

尾別地区の道路の買収単価のご質問であります。道路として買収になる土地所有者に対し、尾別老人憩いの家で説明会を開催しております。説明会には、都合により欠席された方もおりましたが、出席いただいた方々にはご理解いただいたものと思っております。最終的には、各個人の面積がはっきり確定した段階で総務企画常任委員会に諮り、関係者の合意を取りつきたいと思っております。

● 木村水産観光課長答弁

東北新幹線は、皆様もご承知のように、八戸から新青森駅までの進捗状況は、ほぼ完成に近いと聞いております。確かに2010年12月には開業を迎えるわけですが、周辺環境の整備も始まり、新青森駅の建設も

進められている状況であります。

質問の中で津軽鉄道の車内を使った観光コースの揭示、さらには津軽中里駅周辺の環境整備、また駐車場の除雪などの問題ですが、駅周辺は県道と津軽鉄道の用地であると聞いております。よって、今後その車内の揭示及び周辺の環境の整備につきましては、関係する方々と津軽駅周辺環境施設の環境整備を協議し受け入れ体制をつくりたいと思っております。

また、これらも踏まえて、観光を取り巻く諸問題を官民により解決したいという思いから座談会を中里、小泊両地域のそれぞれで活躍している事業者、団体等と観光の現状、観光商品の発掘、さらには観光商品の課題などをテーマにして座談会を開催しております。

その結果は、今後の観光振興は、産業別の連携を強化することが観光客の誘致に対する体制づくりが必要不可欠だということを認識した次第です。よって、観光客を誘致する体制づくりは、個々の地域が伝統、文化、産業を守り、伝えることが観光客のニーズにこたえ、期待されるものと思っております。

● 成田環境衛生課長答弁

この環境影響評価等業務は、平成20年度から3カ年実施されるものです。事業の進捗状況については、10月6日より業務に着手しております。今年度の環境影響評価業務は、冬期間の現地調査と方法書の作成であります。

現地調査は、着手したのが10月ということもありまして、今年度は冬期間調査のみで調査項目については、大気質の測定、それから水質の測定、尾別川に入る水の検査であります。それから、動植物の生態系、それから景観について実施することにしております。これ

は、すべて3月の中旬までには終了する予定になっております。

また、方法書の作成については、方法書とは、どのような方法で環境影響評価を行うかを記載するもので、作成した方法書を1カ月の期間で公告、縦覧し、地域住民から環境保全上についてのご意見を求めるものです。また、県にもこの方法書を提出しまして、意見を求めることになっております。この方法書は、今月中に町民の皆さんに公告、縦覧できる予定であります。

それから、なお中里処分場による尾別川への影響についてですが、毎年度定期的に出水調査を行っているところであり、今年度においても、水質には異常がない旨調査報告を受けています。調査結果については、今後5月号の広報に掲載しまして、町民の方にお知らせする予定です。

古川 登議員



質問 第1 八幡宮の周辺の道路整備について

この道路整備の問題は2年ぐらい前にも質問しました。もちろんその当時も財政難だということで、実現しておりません。今回この質問をするために見てきました。その八幡集落には八幡さまがあります。その

周辺で、もし火災が発生すれば道路が狭く大変なことになると思います。財政難で予算がないのはわかりますが、やらなければいけない箇所があります。私の話を聞くだけでなく、現場を調査していただきはつきりした答えが聞きたい。そう思い再度質問いたしました。

質問 第2 尾別川の周辺の支流の問題について

次、地元、私尾別川の支流でございますが、まず水が本流のほうから支流に流れていません。夏になれば汚水だけが流れます。私が思うには、予算も多かからない状態ですので、担当課でも今一度調査していただきたいと質問いたしました。

質問 第3 慰霊祭のいじりごと

慰霊祭には100名以上の出席者があります。式では町長が式辞を述べました。町長の式辞は、戦後約60年、働き手のお父さん、お兄さん、それが召集令状を受け、そして戦地において亡くなっておられる。それでも、戦後五、六十年過ぎて、このような我が町も、日本もこのようになった。死んだ御霊にそのような問いかけをした町長です。非常に感動して聞いていました。私ばかりでないと思います。

そして、昼食の際には出席者に弁当が配られます。その弁当代の予算はどこから出ているのか。国・県から出ているのか、町からなのか。額にしてもそれほど大きな額にはならないと思います。戦没家族の心を癒すため、そしてこれが負担にならないよう、助成等を考えていただきたいと思えます。

●小野町長答弁

町では、毎年9月の最初の週をめどに慰霊祭を開催しております。さきの大戦後60数年の月日が流れた今日、出席されているご遺族の方々も高齢化が進み、亡くなった方々はもちろんのことご遺族の皆さんと接するに当たり、改めて追悼の思いを隠せない一人でございます。

さて、慰霊祭の後の追悼式終了後に、ささやかではございますが、反省会を実施しております。議員からこの反省会の費用を助成できないものかと再三ご提言があり、関係課並びに財政当局とも検討に検討を重ねたところ、今議会の平成21年度予算案に助成金ではない方法で実施すべく予算計上をさせていただきました。

●横山建設課長答弁

八幡集落の南側から中里バイパスにつながる道路整備がありますが、雪がなくても乗用車同士がすれ違えない、バイパスへ抜ける道路も全然自動車同士は交差ができません。できれば道路を少しづつでも拡幅して何年か計画を立ててやれば良かったのですが、予算の兼ね合いなどがあって、今までは手がけることができませんでした。

21年度に20年度の今の国の補正予算で中泊町にも道路整備を中心にハード面に使えるお金が来ましたので、21年度に一部舗装が未整備となっているところなどを優先させて21年度にある程度整備したいと思っております。したがって、バイパスへ抜ける道路については、その後に計画なるかと思えます。

それから、尾別集落内の排水路の悪臭対策であります。この問題は、以前にも話があり、いろいろ検討

して現場も何回も見てきた経緯があります。議員ご指摘の川の工事の件ですけれども、あれも小田川地区の圃場整備をやった際に、16戸あるうちの側溝との高さの問題等で、つり合いがとれていないため水が流れない。それで、夏場には悪臭する。これは決して生活環境上よくありませんので、いま一度地域の住民の皆さんと相談をして、何か別な方法がとれないか検討していきたいと思っております。

川山光則 議員



質問 第1 国が行う町内の工事について

町内各地で国が発注し県が行っている工事について、現在の状況を見るととても住民が納得できるものがありません。今までの工事は仕方ないとしても今後は、各課で説明を受け必要なのは住民説明会等を開いてほしいと思うが、理事者の考えを伺います。

質問 第2 役場人事異動について

このことについて私は昨年一般質問等で、長い期間同じ場所に職員を配置しておくのは本人のためにも、役場のためにもよくないと提言しております。新年度は退職者や新入職員が多数あるようですが、考えを伺

います。またそろそろ中里出身の人も小泊支所の方へ配置して、人事交流もしてはどうかと思いますが、町長の考えを伺います。

●小野町長答弁

人事異動については、特に若い職員にあつては3年から5年程度を目安に、中堅以上の職員にあつても5年程度を目途に異動させているとお答えしております。専門的な職種にあつては、この原則に沿っていない場合もありますが、基本的な考え方は踏まえており、昨年の人事異動においても、そのようにしておりますし、今後においても同じであります。

なお、本年も人事異動の時期となつてまいりましたが、4月には町長選挙が予定されていることから、大規模な異動は6月に実施したいと考えております。4月23日で任期が切れる今の状況で、実施すべきでないかと判断したものであります。

また、議会最終日に定額給付金関連の予算案等をご審議いただくことになっていますが、町民の皆様方に1日も早くお届けしたいの思いから、現在全庁一休となつて、その準備作業にあつており、これらの作業は4月以降にずれ込むことが見込まれることも勘案したものです。4月1日人事は、保育所、そして廃止となる小泊幼稚園、それと退職者補充及び新採用職員の配置程度になるものであります。

●横山建設課長答弁

大山長根地区の地すべり対策の工事だとお聞きしていますが、これについては、事業主体が県ということで、西北地域県民局、町建設課、小泊支所管理課の職員が関係者と話し合いをしております。ただ、工事が

単年度で終わっていない場合もあります。一部地権者に連絡がいかかったということもあつたかもしれませんが、説明会は開催しております。

それから、小泊川の河口域の護岸のかさ上げ工事があります。このときも県民局の職員と支所管理課の職員が家へ行って説明をして協力をお願いしております。今後も道路や河川工事等については、住民の声を聞くため、そういう説明会を開催して、理解を求めて工事をするよう県にも願いますし、町の工事であれば、当然そのような形で進めたいと思っております。

●川島農政課長答弁

この事業の実施するに至った経緯につきましては、339号線の雄乃湯温泉付近が災害等で通行止めになった場合、交通が遮断され、小泊地域住民が孤立化するというような質問がされました。それを踏まえ、農政課で何ができるかと検討してみました。過去に脇元割長根線の林道を建設した経緯があります。それが今現在不可能となつておりますので、それを代替道路に活用できないかということを考えてみました。そこを整備することによって代替道路としての役割を果たし、緊急避難的に対応できるということを検討してみました。

そこで町としては、今の財政状況では町が事業主体でやるのは非常に難しいことから、この脇元割長根線は、五所川原市と中泊町にまたがっているということもあり、県に財政の伴わないような形で事業実施できないかということでも要請をしております。県では、21年度にこの通行不可能な林道を整備するということが前向きに検討しております。ただ、待避所等の用地買収等が出てきた場合には、地元負担が伴うも

のと考えております。経費削減につながり、効率的で効果的な代替道路ができるものと考えております。

今後事業着手にあたっては、地域住民あるいは沿道の方々へ説明会等を開催して、理解と協力を求めていると考えております。

●木村水産観光課長答弁

漁港、漁場整備につきましては、国、県の事業ということで平成14年から23年の10年間の計画で今進められています。この事業に対しては、両漁港の協議した上で実施しております。また、小泊川の関連で河口の問題が取り上げられていることを踏まえて、今県とも協議しながら進めています。金額が大きいこともありますが、この沖合の人工リーフについては、地元の強い要望があれば、検討するという県の返事をいただいております。新年度については、両漁協のいろいろな問題を取り上げて、十分協議の上、事業を進めたいと思っております。

荒関富雄 議員



質問 第1 教育振興対策について

教育振興策ということで、障害のある児童の教育現場の現状と保護者の負担軽減についてですが、これは、

愛護手帳をもらっているB認定の児童なのですが、森田学園などに通っている場合、中里から森田まで通学いたしますと、約1日3千円位かかり、月約6万円位かかるような勘定になります。これに対しては、県から大体どれぐらいの補助が入っているのか、そして実費がどれぐらい出ているのか、お聞きします。

少子化の進行と教育施設の整備についてであります。少子化の進行は著しいものがあります。これから今後懸念されるのは、少子化が進行していくと今ある中学校2校は、今後10年後、15年後にはどれぐらいの生徒数になる見込みなのか、お聞きします。

教育施設の整備、特に今問題になっているのは耐震化構造の問題ですが、いつごろ着手して完成する見込みなのかお知らせ願えればと思います。

質問 第2 公共交通網の整備について

我が町では町村合併しましてから、地域連絡バスというのができました。そして、児童の通学にはバス等を出しております。今回中里高校と武田線というバスを今度新しく運行するような形になりましたが、この運行時間を協議会で説明を受けましたが、他の交通機関との接続が悪いのではないかと。もう工夫できないものか。

質問 第3 斎場の利用時間と受付状況について

斎場の利用時間と受け付け状況についてであります。現在斎場の受け付け状況を見ると、1件目と2件目との時間差は必ず2時間以上あけなければ受け付けられないということになっておりますが、これはいつ

からそうなったのか。これは変更できないものか。また、補正の予算書を見ますと、何かトイレの改修等も考えているようですが、火葬の窯は2つあるわけですので、これを有効に使えるような状況で運営したほうがよいのではないかと思っております。

●小野町長答弁

公共バス路線は、厳しい運営が続いており、中泊町でもつがる市から中高線と金木から田茂木・長泥線がなくなることは、皆様にもご報告しているとおりです。通院や通学のためにも交通手段は必要であり、廃止された地区の皆さんの強い要望があります。田茂木・長泥線の地域も同様であります。このような代替バスを検討しているときに、中里高校の校長先生から武田地域から中里高校への交通手段への要望が出てまいりました。中里高校への交通を整備することは、在学中の学生のみならず将来的観点から学生を確保していくためにも、どうしても必要でありますので、中里高校生の利用を重点として時間帯を設置したものであります。ご質問の各路線の接続については、地域、利用者の皆様方のご意見を伺いながら必要に応じて、対処してまいりたいと思っております。

●坂田企画調整課長答弁

ご指摘のバスでございますが、それぞれ異なる目的を持って発足しています。学童通学バスは、地方交付税の制約から一般乗客の利用は困難です。地域連絡バスは、町村合併後の中里地域、小泊地域の町民交流を目的に路線バスに影響を及ぼさないような時間帯に弘南バスに委託しております。来年度から走行する武田・中高線バスは、田茂木・長泥線の代替交通の役割と

もに、中里高校生が便利に通学できる時間帯とし、津軽鉄道への接続も考慮いたしました。この3種類のバスは、交通ネットワークとして編成したものでないの、接続がありませんが、接続をさらに便利なものとし、利用率の向上を図らなければならないのは、ご指摘のとおりです。

地域連絡バスと武田・中高線バスについては、厳しい公的規制を受けていますが、利用者の実態を調査し、広く意見を伺いながら、接続可能な方策がないものか、国、県の指導を得ながら検討してまいります。

● 藤田教育長答弁

少子化による学校施設の整備については、まず中学校の在籍数の推移についてお答えいたします。

中里中学校が去年の5月1日現在では271名です。これがちょうど30年度になりますと、予定見込みでは183名。小泊中学校は、現在は106名、予定見込みでは、30年度には68名となっています。

次に、耐震診断、耐震工事の件ですが、これは昨年の7月の臨時議会で耐震診断の予算を認めていただいております。これについての工事計画は、今後町長部局と協議していきたいと思っております。

なお、この工事につきましては、今の新しい補助金制度は、20年から22年までとなっています。したがって22年で事務的なものを終り、23年で耐震関係の工事の終了はしたいと考えております。

● 浪内福祉課長答弁

荒閑議員の障害のある児童の教育の現状と保護者の負担軽減についてお答えいたします。

まず、最初に障害のある児童の教育の現状であります

が、最も近いところでは、森田学園と森田養護学校があります。町からは、学園には4人入所しています。また、養護学校に通学している子供は3人おります。そこで、保護者の負担のことでありますが、通学している父兄の通学に係る送迎の交通費負担が1日3千円程度と理解しております。障害のない子供たちは町内の学校にスクールバスで通学していることを考慮すれば、相当に重い負担をしていると思います。養護学校のほうでもそれなりの通学援助費を支給していますが、町としても保護者の負担の軽減を図るべく善処したいと思っております。また学校のほうから、どの程度の通学援助費が支給されているのかということについては、教育委員会を通じて、1カ月半ほど前に養護学校のほうに照会しましたところ、個人のプライバシーのことなのでお答えできないということでした。

● 成田環境衛生課長答弁

平成20年度における中里斎場の利用状況についてお知らせします。3月7日現在で132件の利用がありました。そのうち1日に2件の斎場利用は20回ありました。

それでは、なぜ3時間以上の待機時間をお願いしているかといいますと、一つには火葬に要する時間です。おつとめから火葬、この火葬には1時間40分程度を見込んでおります。そして、その次にお骨上げにも相当な時間が必要であります。その後の後片づけ、これも非常に時間がかかると思います。これらを入れますと、どうしても3時間以上の待機時間は必要ではないかと担当課としては考えております。

二つめとして、斎場を管理運営する立場としては、遺族の方々と仏さまとの最後のお別れをゆっくりして

いただきたいと考えております。また、仏さま、そしてご遺族さまにもそれぞれさまざまな人間模様があると思っております。このことから、違う遺族の方々が同じ場所と同時に待機されるということをしてできる限り避けたいという思いからであります。

このことから、混雑を避けるためにも、今後も待機時間は3時間以上お願いしたいということと考えております。

青山雅晴議員



質問 第1 先月の暴風雪災害について

先月暴風雪災害について、近年まれに見る強い風が2月20日から21日にかけて津軽全体を揺るがしました。その影響で各地区では、停電やシャッターの破損、屋根のトタンなどなど、日が経つにつれて被害が増大してまいりました。町の調査による届け出は69件となっております。届けていない方も入れると、相当の数になっております。そこで、町では21日に災害対策本部を設置しておりますが、前の日に消防車や緊急車両を出して、町内を巡回して呼びかけたのか、町の対応が非難されております。今後もうこういう事態が起こると思つて、緊急時の対応に常に備えて頂きたい。

質問 第2 町が設置している物の老朽化

前にも質問いたしましたでしたが、町の設置している看板や椅子、遊具などの腐食が進んでおります。他県の自治体では、子供が遊技中に尊い命を落としております。特に我が町では、小泊、下前地区の潮風が一段と強く、腐食を早めております。事故が起きてからでは遅いので、事故防止のために点検してください。

●小野町長答弁

2月20日から21日にかけての暴風雪は、瞬間最大風速が35メートルを超える強烈な暴風雪が吹き荒れ、人家や作業所、農業用ハウス、防雪さく、農業施設に大きな損害を与えました。また、停電が発生し、短いところで16時間、長いところでは43時間も続き、町民の皆さんには大きな不安を抱いた方が多いかと存じます。被害に遭われた皆さんには、心からお見舞い申し上げます。私は、津軽東京吹雪の会に出席するため、東京都に滞在しておりましたが、21日早朝、家族からの電話と新聞やテレビで状況を知り、大きな被害であると認識いたしました。早速帰るつもりで羽田空港に行きましたが、天候不良のため飛行機が飛ばないことから、総務課長に電話し、必要があれば災害対策本部を設置し、対策を講じるよう指示したものであります。その後、私が青森に着いたときには、天候も回復しており、そのまま町内を巡回し被害の大きさに驚いたものでした。特に若宮の長利武雄さんのお宅に伺ったときには、2階の屋根が飛んでなくなっており、大変な悪天候であったと改めて感じました。

ご質問の災害対策本部の対応については、議会開会

日開催の議員全員協議会にも報告しておりますが、町民の皆様には不安を感じさせるような対応があったようであり、おわび申し上げます。今後防災計画に基づいた対策を的確に講ずることができるよう徹底してまいり所存であります。

●秋元総務課長答弁

2月20日夜半から発生の暴風雪災害対策本部の対応についてお答えいたします。

このことについては、議会開会日に開催された議員全員協議会に災害報告書としてご報告申し上げたところであります。

2月20日晩から吹き始めた暴風雪はその強さを増し、10時半から11時にかけて町内のほぼ全域で停電が発生いたしております。この時点で防災担当職員を役場に出勤させ防災機器等の保守及び情報収集にあたらせております。

翌21日早朝私も役場に出勤し対応にあたり、午前7時前に町長から電話があり、必要であれば災害対策本部を設置するようにとの指示を受け7時に対策本部を設置しております。それから、直接関係する課長等に出動を要請いたしております。

そこで、管理する施設の調査点検、危険物の撤去及び臨時補修にあたらせ、小泊地域においても、管理課長に連絡し同様の対応を取らせております。また、停電時間が長引きもつとも心配されたのが、ひとり暮らし及び高齢者世帯の対応でありました。これについては、社会福祉協議会及び包括支援センターと連絡を取り合い緊急に支援が必要と思われる世帯を21日朝から訪問しました。

災害対策本部の設置及びその運用については、中泊

町地域防災計画で定められておりますが、このたびの災害に遭遇しマニュアルどおり運用できなかったところであり、町民の皆さまに不安を与えましたことに対し誠に申し訳なく深くお詫びを申し上げます。対応ができません。特に、停電が長引きそれらに対応ができなかったことは、東北電力との緊密な連絡がとれず、的確な情報提供ができなかったことによるもので、これに対する対応を痛感いたしております。

これらのご指摘は、至極当然のことであり、所管する責任者として深くお詫び申し上げます。重く受け止め今後このようなことのないよう対処してまいりたいと思っております。

●横山建設課長答弁

今泉ドライブイン前駐車場の椅子の破損についてですが、先月の20日からの暴風雪後に十三湖岸にある木製の椅子が破損しているとの情報がありました。この椅子は、西北地域県民局がゆりの駐車帯を整備した際に、あずまや等と一緒に設置したものであります。この管理については、県と町が管理協定を結んでおります。

それで、早速県に連絡したところ、県で倒れていた椅子を2脚撤去しました。ただ、残りの1基についても建設課の確認したところ下が潮で腐食して危険な状態でしたので、それもあわせて撤去していただきました。夏は駐車帯の利用者も多いことから、再度設置していただけるよう県にお願いしているところであります。



民生文教常任委員会 (秋元啓志 委員長) 3月25日(水)

〈案 件〉

- ・教育予算の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
- ・その他



議会運営委員会 (米塚慎一 委員長) 3月25日(水)

〈案 件〉

- ・平成21年第1回中泊町議会定例会会期日程について
- ・予算委員会の組織及び委員会日程について
- ・提出議案について
- ・陳情の審査結果報告について
- ・新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- ・その他



【1月】

- 5日 中泊町建築組合通常総会
- 6日 新年を祝う集い
- 15日 第1回中泊町臨時議会
- 総務企画常任委員協議会
- 民生文教常任委員協議会
- 21日 例月出納検査
- 22日 例月出納検査
- 商工会主催新春講演会
- 23日 建設業協会新年意見交換会
- 26日 青森県町村議長会理事会

【2月】

- 4日 後期高齢者医療広域連合定例会
- 12日 定期監査
- 13日 定期監査
- 15日 中泊町文化賞・スポーツ賞授与式
- 公民教室閉講式
- 25日 民生文教常任委員会
- 議会運営委員会
- 西北五広域福祉事務組合議会
- 26日 青森県町村議長会定期総会

【3月】

- 1日 県立中里高校卒業式
- 4日 第一回中泊町議会定例会
- 9日 本会議 一般質問
- 10日 予算特別委員会(特別会計)
- 11日 予算特別委員会(一般会計)
- 12日 本会議 単行案審議・採決・閉会
- 18日 中泊町更生保護女性通常総会
- 薄市小学校卒業式
- 例月出納検査
- 19日 小泊小学校卒業式
- 武田小学校卒業式
- 例月出納検査
- 20日 中里小学校卒業式
- 23日 つがる広域連合組合議会
- 西北五環境整備事務組合議会
- 五所川原地区消防事務組合議会
- 公立金木病院組合議会
- 24日 産業建設常任委員協議会
- 小泊幼稚園卒園式
- 27日 中泊町水田農業推進協議会臨時総会
- 30日 中泊町農業委員会委員懇親会